

デジタルドリル等の導入について（中間報告）

1 導入の目的

GIGA スクール構想により整備された1人1台端末を活用して、市内小中学校全13校にAI型デジタルドリル及び授業支援ソフトを導入することで、児童生徒の学習進度および理解度に応じた「個別最適な学び」を推進し、併せてテストや宿題、学習教材のデジタル化により、教職員の負担軽減を図る。

2 導入経過

令和2年度～令和4年度 1人1台端末整備

令和4年8月～令和5年3月 経産省補助事業「Edtech 導入補助金」を活用して、
AI型デジタルドリルを試行導入。（市負担無し）

令和5年度 「デジタル田園都市国家構想交付金」を申請し、令和6年度事業として交付決定。

3 導入したデジタル教材

「スマイルネクスト」（㈱ジャストシステム）

AI機能を搭載したデジタルドリル及び授業支援ソフト

4 活用場面

- ・基礎学力定着を目指したドリル活用（授業の振り返り、宿題、前学年の復習 等）
- ・協働学習におけるツール活用（児童生徒が作成したものをクラス内で共有 等）

5 活用状況

- ・4月以降に順次活用を開始し、夏休み前までには全校で授業や持ち帰り学習での活用が定着してきている。
- ・市教委では、導入したデジタル教材に特化した教職員向け研修を6月～8月に5回実施し、教職員の資質向上と学校における活用促進を図っている。

6 課題

- ・導入初年度なので、成果として児童生徒の学力に反映されるまで一定の期間を要する。
- ・効果的な学習利用に向けて、活用方法等を調査研究する必要がある。

7 今後の取組

- ・学校における学力向上に係る取組に対して、指導主事を中心に市教委からも助言、指導を行いながら、デジタルドリル等を活用した基礎学力の定着を進めていく。